



ロータリー補助金 クラブの参加資格認定

よくある質問

よりよい地域社会をめざして長期的な成果をもたらすため、入念な活動計画を経て、世界各地で実施されるロータリーのプロジェクト。そうした数々のプロジェクトを支えるロータリー補助金は、参加資格を設けて最善の資金管理に努めています。クラブの参加資格認定に関し、以下のよくある質問への答えをご参照ください。

問： クラブが、ロータリー補助金を申請するにあたり、参加資格の認定を受けていなければならないのはなぜですか。

答： 参加資格認定手続きは、補助金の資金管理に必要な体制をクラブが備えていることを確認するためのプロセスです。グローバル補助金では、クラブが代表提唱者となるために、参加資格の認定を受けている必要があります。地区補助金では、クラブが補助金を受領するために参加資格認定が必要かどうかを、地区が決めることができます。

問： クラブは、どのようにして参加資格の認定を受けることができますか。

答： クラブの覚書(MOU)に署名し、地区が実施する補助金管理セミナーにクラブの代表者を少なくとも1名出席させなければなりません。また、認定を維持するには、クラブが毎年これらの手順を踏まなければなりません。

「クラブの覚書(MOU)」、「補助金管理セミナー指導者用手引き」、「補助金管理の手引き」などの関連資料は、www.rotary.org/ja/grantsからダウンロードできます。

問： 誰が覚書に署名しますか。

答： クラブの覚書には、その覚書が適用される年度のクラブ会長と会長エレクトが署名します。例えば、2014-15年度用の覚書には、2014-15年度クラブ会長と2015-16年度クラブ会長が署名します。

問： 補助金管理セミナーはいつ開催したらよいですか。

答： ロータリー財団は、補助金管理セミナーを、会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会、地区大会のいずれかに付随して開催するよう推奨していますが、地区の裁量により、ほかの時期や場所で開催することも可能です。

クラブを対象とする、この補助金管理セミナーの開催に先立ち、地区は参加資格認定を受けている必要があります。これは、認定要件を十分に理解した上で、セミナーを行うためです。

地区は、このセミナーを複数回行うよう推奨されています。例えば、PETSで1回、地区研修・協議会でも1回、そして一年を通じて随時、欠席した人のための研修セッションを行うことができます。

問： 補助金管理セミナーは、ウェビナーやビデオ会議などの形式で行うことは可能ですか。

答： 補助金管理セミナーはこれまで、参加者が1つの会場に集まって行うことになっていましたが、現在は、数回にわたるウェビナーの形式を用いる選択肢があります。ウェビナーを行う場合の詳しい説明は、www.rotary.org/ja/grantsからダウンロードできる「補助金管理セミナー指導者用手引き」をご参照ください。

また、ウェビナーに関する一般的な情報は、www.rotary.org/myrotary/ja/ のラーニングセンターにあるコース「How to Run A Webinar: For Organizers」(ウェビナーの開催方法)でも紹介されています。

問： クラブは、ほかの地区の研修に出席することはできますか。

答： 地区の許可があれば、クラブはほかの地区または多地区合同の研修に出席できます。

- このような例外を認めるかどうかは、地区の裁量で決定されます。
- クラブがほかの地区または多地区合同の研修に出席することを認めた地区は、それらのクラブが自らの地区に特有な資格要件についても必ず研修を受けるようにする必要があります。
- セミナーがどこで開催されるかにかかわらず、クラブが適切な研修を受けられるよう、地区が最終的な責任を持つことになります。

問： 誰が補助金管理セミナーに出席しますか。

答： 参加資格の認定を受けたいと望む各クラブから会員1名が出席する必要があります。クラブ会長エレクト、そのほかのクラブ役員、補助金管理に関わる会員が、クラブを代表してセミナーに出席することが推奨されています。

- 追加で何名までのクラブ会員をセミナーに招くかは、地区が決定します。
- 地区は、可能な限り、ロータリー補助金に関心のあるすべてのクラブ会員にセミナーへの出席を奨励すべきです。

問： 地区はクラブの参加資格要件を追加することができますか。

答： [ロータリーの要件](#)に、地区独自のクラブ参加資格要件を追加することができます。地区の定める要件は、クラブの覚書(MOU)の補遺として詳しく記載する必要があります。

問： 地区はどのような追加要件を設けることができますか。

答： 追加要件を設ける際は、自国の法律や規制、地区独自の状況(例えば、より厳しい会計基準など)を考慮するとよいでしょう。

- グローバル補助金を利用したいと望むすべてのクラブにとって達成可能な要件であるべきです。過度の規制とならないよう注意します。
- 地区内すべてのクラブに対して、同じ要件を定めるべきです。
- 参加資格の要件は、クラブを除外する目的で設けられるべきではありません。クラブの参加資格認定を妨げるような要件を意図的に追加した地区は、地区自身の参加資格認定が無効となる可能性があります。

問： 参加資格認定を受けていないクラブから、地区補助金の要請があった場合、地区はどのように対応すべきでしょうか。

答： 参加資格認定を受けていないクラブに地区補助金を授与するかどうかは、地区が決定します。また、未認定クラブへ配分された補助金資金の用途についても地区が責任を負います。適用されるすべての財団方針(地区補助金の授与と受諾の条件を含む)を、未認定クラブが順守しなかった場合、地区の参加資格認定状況が無効となる可能性があります。

問： クラブの参加資格認定は、誰が責任を持って行うものですか。

答： 地区ガバナー、ガバナーエレクト、地区ロータリー財団委員長、地区財団資金管理小委員会が、クラブの参加資格認定を監督します。地区ロータリー財団委員長がクラブの認定状況を確認し、ロータリー財団からの連絡に対応します。

地区は、署名済みのクラブの覚書(MOU)と研修出席者の名簿を保管するよう義務づけられていますが、これらの書類をロータリー財団へ提出する必要はありません。